

令和4年10月18日

「横浜市交通安全対策会議」（動画による市長メッセージ 全文）

皆様、こんにちは。横浜市長の山中竹春です。

本日はご多忙の中、お集まりをいただき、誠にありがとうございます。

皆様には日頃より、交通安全施策をはじめ、横浜市政に多大なるお力添えを賜り、厚く御礼申し上げます。

横浜市内での令和3年中の交通事故死者数は36人と、統計史上、最少となりました。

しかしその一方で、同年5月には、市内で下校中の児童が命を奪われるという、大変痛ましい交通事故が発生しています。滋賀県大津市や千葉県八街市で、園児や児童が亡くなった事故も記憶に新しく、今、子どもの交通安全対策は、大きな社会問題になっています。通学路における子どもの交通事故死をゼロにしたい。その思いで、横浜市は、新たな取組をスタートします。

ETCで収集される車両速度などのビッグデータや、警察が保有している交通事故データなどから、小学校の通学区域ごとに危険箇所を可視化した地図を作成し、小学校での活用を進めます。ハードとソフトの両面での交通安全対策に取り組み、未来を担う子どもたちの安全を守っていきます。

先日、素案を公表した、横浜市中期計画では、「子育てしたいまち 次世代を共に育むまち ヨコハマ」を基本戦略としました。

子どもたちに優しい街は、どなたにとっても優しい街です。今後も交通安全対策会議の皆様と手を携え、交通安全施策の充実に向けて、力を尽くしてまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。